

# 令和6年度火山情報アドバイザリー会議 議事要旨

## 1. 日時

令和7年3月10日（月）10時00分～12時00分

## 2. 場所

気象庁7階会議室1（WEB会議併用）

## 3. 議題

- (1) 今後の火山情報アドバイザリー会議の運営について
- (2) 噴火警報等の発表にかかる事後検証
  - ・岩手山
  - ・御嶽山
- (3) その他

## 4. 議事概要

- (1) 今後の火山情報アドバイザリー会議の運営について  
火山情報アドバイザリー会議の目的と役割、開催基準、開催方法等について、事務局から説明した。
- (2) 噴火警報等の発表にかかる事後検証

### ○岩手山

- 東北大学のひずみ計の変化については、遅くとも2024年7月頃には東岩手山直下への $10^6 m^3$ を超えるマグマの貫入を示唆する明瞭な変化と読み取ることができる。定量的な検討や黒倉山付近での地震活動も踏まえた評価を行うことで、より早い段階で火山の状況に関する解説情報を発表し、注意喚起を行うことができたのではないか。この頃の地殻変動に関する評価については、改善の余地があると考える。
- 現在の噴火シナリオや噴火警戒レベル判定基準は、観測事例がある1998年の活動を強く反映したものになっている。いずれも地震活動から活動推移が開始することが前提になっているが、火山本部第4回調査委員会における重点評価でも示されたように、浅部熱水系の状態等に依っては顕著な地震活動を伴わない活動推移になる可能性も含めて見直す必要がある。その際は、地殻変動について最新の知見を取り入れることが重要である。
- (熱水やマグマなどの貫入で一度破壊された場所では、あまり地震を起こさずに次の貫入が発生することがある。そのため、) 地震が発生してい

なかった領域で、微小であっても地震が発生するような変化は重要である。地震の変化率のような指標を使えないだろうか。

- レベル3の基準について、より浅部へのマグマ上昇の際は相応の地震活動もあると考えられるため、現在の判定基準で対応できると考える。ただし、岩手山の地殻変動に関する観測点は山麓を中心に展開されているため、浅部にマグマが貫入した場合に、データの変化がどのように見えるかの定量的な検討を事前に行っておく必要がある。
- レベル1への引下げについては、浅部の活動に注視して判断できるのではないか。ただし、深部の活動が残っている場合は、レベルの上げ下げを繰り返す可能性もある。口永良部島の事例が参考になるかもしれない。

#### ○御嶽山

- 2025年1月21日の傾斜変動を伴う火山性微動は、噴火は確認されていないものの、2014年の噴火時と類似した現象が地下で発生したと考えられるので、現象発生の前にレベル2に引き上げておくべき現象と捉えている。
- 臨時を付した解説情報は、レベル引上げの予告情報として分かりやすいので、有効活用したほうが良い。
- 地震活動については、1日あたりの回数を統計的に処理して異常値を明らかにするという方法もある。

#### ○全体について

- アドバイザリー会議の役割を踏まえると、火山活動の状況と解釈の説明に加え、火山活動の状況とレベル判定基準を対比しつつ、気象庁がどのように判断したかを前面に出して説明したほうが、より適切な助言が得られると思われる。

### (3) その他

特になし

## 5. 出席者（※はWEBでご出席）

（委員）

（北海道地方）

青山 裕 北海道大学 大学院理学研究院 教授

（東北地方）

太田 雄策 東北大学 大学院理学研究科 教授

山本 希 東北大学 大学院理学研究科 准教授

（関東・中部地方）

前野 深 東京大学 地震研究所 准教授  
行竹 洋平 東京大学 地震研究所 准教授  
(九州地方)  
※大倉 敬宏 京都大学 大学院理学研究科 教授  
為栗 健 京都大学 防災研究所 准教授  
中道 治久 京都大学 防災研究所 教授  
(各地方共通)  
石塚 吉浩 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 活断層・火山研究部  
門 副研究部門長  
※上田 英樹 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 巨大地変災害研究領域  
地震津波火山観測研究センター 火山観測管理室長  
宗包 浩志 国土地理院 地理地殻活動研究センター 地殻変動研究室長  
(五十音順)

(学識経験者)

※前田 裕太 名古屋大学 大学院環境学研究科 講師  
(参与)

鍵山恒臣 京都大学 名誉教授  
武尾 実 東京大学 名誉教授  
中川光弘 北海道大学 大学院理学研究院 特任教授  
三浦 哲 東北大学 名誉教授

(五十音順)

(気象序)

青木 元 地震火山部長  
中辻 剛 地震火山部 管理課長  
重野伸昭 地震火山部 管理課 火山対策企画官  
菅野智之 地震火山部 火山監視課長  
北川賢哉 地震火山部 火山監視課 火山機動観測管理官  
碓井勇二 地震火山部 火山監視課 火山活動評価解析官  
井上和久 地震火山部 火山監視課 課長補佐  
今野英慈 地震火山部 火山監視課 火山防災推進室長  
中村政道 地震火山部 火山監視課 火山監視・警報センター所長  
山里 平 地震火山部 火山監視課 火山活動評価官  
若生 勝 仙台管区気象台 地域火山監視・警報センター所長  
大石雅之 仙台管区気象台 地域火山監視・警報センター 火山調査官